

2022年に“揺れ”が強かった地震トップ3

地震津波火山ネットワークセンター 久保久彦

Point

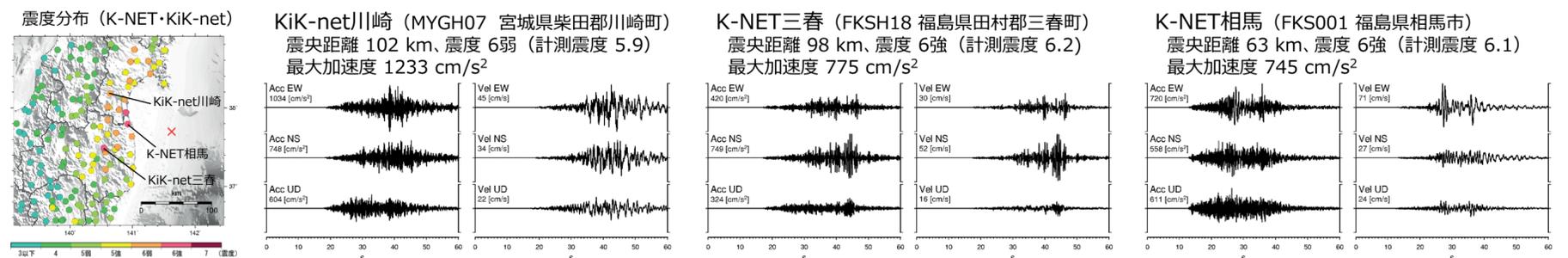
- 防災科研は全国約1700ヶ所で「強い揺れ」を日々観測しています。
- 2022年*1において、特に揺れが強かった地震トップ3*2を紹介します。
- 2022年3月16日福島県沖の地震（M7.4）の際に、宮城県KiK-net川崎で観測された1233 cm/s²の揺れ（計測震度5.9）が最大でした。

*1 2022年1月1日から12月9日までの期間 *2 防災科研による観測において最大加速度が大きかった順

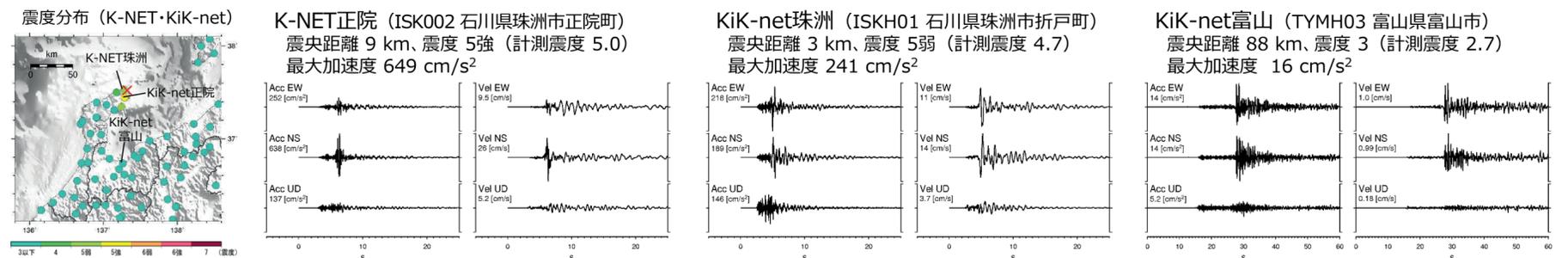
研究の領域

予防	応急対応	復旧・復興
予測・情報力		
防災基礎力		

1. 2022年3月16日福島県沖の地震 M7.4、深さ 57 km、最大加速度 1232 cm/s²、最大震度 6強



2. 2022年6月20日石川県能登半島の地震 M5.0、深さ 14 km、最大加速度 649 cm/s²、最大震度 5強



3. 2022年6月19日石川県能登半島の地震 M5.4、深さ 13 km、最大加速度 606 cm/s²、最大震度 6弱

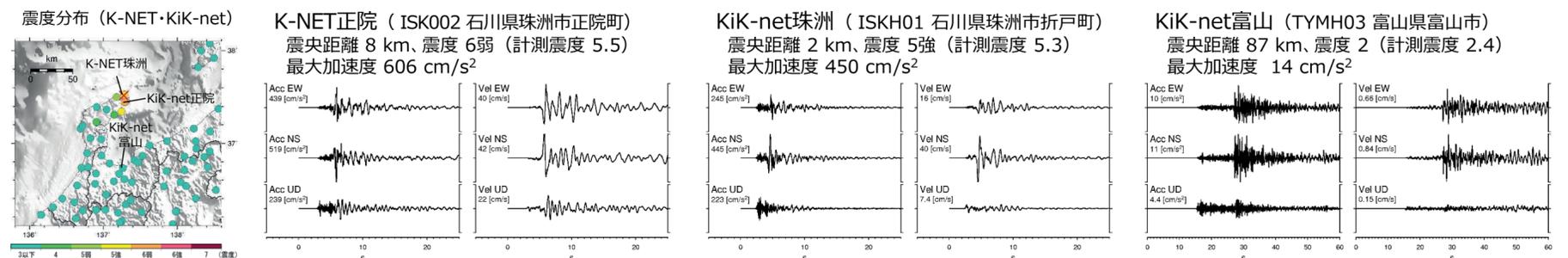


図1 2022年3月16日福島県沖の地震 (M7.4)、2022年6月20日石川県能登半島の地震 (M5.0)、2022年6月19日石川県能登半島の地震 (M5.4) の際に、防災科研K-NET・KiK-netで記録された強震動波形

概要の展望・方向性

防災科研 地震津波火山ネットワークセンターは観測を通じた災害の軽減を目指し、陸海の7観測網で構成される陸海統合地震津波火山観測網MOWLASを運用しています。その中でも強震観測網K-NET・KiK-netは、被害を及ぼすような「強い揺れ」を振り切れることなく正確に記録することを目的として、全国約1700ヶ所で観測を行っています。ここではK-NET・KiK-netにおける2022年の観測事例を報告します。

今後の展望・方向性

K-NET・KiK-netによる観測データは、地震発生後インターネット上で公開されるとともに、気象庁を含めた多くの機関に配信されており、災害時の災害対応や地震ハザード・被害リスク評価、地震やその揺れに関する研究などに活用されています。また「強震モニタ」として、日本列島の今現在の揺れをリアルタイムにインターネット配信しています。今後も安定的な観測・データ公開に努めるとともに、更なる利活用を推進していきます。

